

学校名・施設名等 出雲西高等学校インターアクトクラブ

担当者名 顧問 新田 篤生

対象河川名 神戸川

実施時期 夏・秋

## 取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 高校1・2年生      〔参加者数〕 夏調査 11人・秋調査 10人

【夏の調査】 2023.7.15(土) 〈天気〉晴のち曇 〈気温〉30.5℃ 〈水温〉24.0℃

〈一番多かった指標生物〉カワゲラ類 3    〈水のきれい度〉きれいな水

〈その他の生物〉ナミウズムシ 1、コオニヤンマ 2、カワニナ類 1、コカゲロウ 4、キイロカワカゲロウ 2、タニガワカゲロウ 28、ヒゲナガカワトビケラ 1、マシジミ 1、カジカガエル(オタマジャクシ)2、カワムツ 1

〈水辺の様子〉前日までに雨が降っていたため、川の水が少し濁った状態での調査となった。COD パックテストや透視度調査、水生生物調査を行った。例年よりも水生生物の数が少なかった。透視度調査は、測定値 76cm であった。 (COD パックテスト 3~4mg/L)



【秋の調査】 2023.9.9(土) 〈天気〉晴のち曇 〈気温〉29.0℃ 〈水温〉26.0℃

〈一番多かった指標生物〉カワゲラ類 16

〈水のきれい度〉ややきれいな水

〈その他の生物〉ヒラタカゲロウ類 6、サワガニ 1、コガタシマトビケラ類 1

オオシマトビケラ 1、ヒラタドROMシ類 6、コオニヤンマ 1、カワニナ類 1

コカゲロウ 30、タニガワカゲロウ 23、チラカゲロウ 13、カワムツ 1、モンカゲロウ 1 他

〈水辺の様子〉7月の調査では、天候不順のため、川の中に入ることがあまりできなかったが、今回は川の中に入り、水生生物を捕まえたり川の状況を直接感じたりすることができた。透視度調査は、測定値 100cm 以上であった。(COD パックテスト 4~5mg/L)



## 子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

**夏** ○普段は、川を見ただけで「きれい」「汚い」と判断しているが、調査し、データから判断することにより、より深く川の水質等の状況を知ることができ、とても勉強になった。神戸川は「きれいな水」であることが分かった。また調査に参加したいと思った。

○初めて調査に参加する生徒達もいたため、調査をすることが川の水質や環境等を考える良いきっかけになったと思う。これからも継続して調査をしていきたい。

**秋** ○今回の調査は7月に実施した時よりも水温が高かったためか、水生生物の数は多かったと思った。また、7月と比べて透視度調査は 100cm 以上と、とてもきれいな状態に戻っていた。

○網で川の中をすくってみると、様々な水生生物を捕まえることができた。また、石の下をみると、網ではすくえなかったとても細かい水生生物を見ることができた。調査をすることで、川の状況を直接感じることができたので、とても良かった。